

シラバス参照

お気に入りシラバス > シラバス参照

科目ナンバリングについて
こちらを参照してください。
講義コード
1123106-1
授業科目名
英語音声学演習
授業科目名(英字)
時間割
後期 金曜日 4校時 L-3 1 4
対象年次及び学年
1年次
担当教員
長井 克己
ナンバリングコード・水準
ナンバリングコード・分野
ナンバリングコード・ディプロマ・ポリシー(DP)
acx
ナンバリングコード・提供部局
L

ナンバリングコード・対象学生
ナンバリングコード・特定プログラムとの対応
ナンバリングコード・授業形態
E
ナンバリングコード・単位数
1
関連授業科目
指導法及び授業研究
履修推奨科目
言語学，初修外国語
学習時間
演習90分 × 15回 + 準備及び事後学習30時間
授業の概要
音声の仕組みを理解した上で，英語を主な教材として，自然な速度の音声の聞き取りと，正確な発音を練習する。
授業の目的
骨や筋肉の名前を知らない医師がいないように，音声の仕組みや発音記号を知らずに語学を教えることはできない。本演習では英語音声の聞き取りと発音練習を行いつつ，調音と知覚の基礎的なメカニズムについての理解を深める。
到達目標
1. 自然な速度の音声を聞きとることができる。(DPの"a") 2. ゆっくりだが正確な発音ができる。(DPの"a") 3. 英語の音声の仕組みについて理解し，指導法を考えることができる。(DPの"c")
成績評価の方法
exam 1 (30%)，exam 2 (30%)，毎週の課題提出 (30%)，発表 (10%)の合計で単位を認定する。(到達目標1-3に対応)
成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。

優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。

良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。

可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。

不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了 到達目標を達成している。

不合格 到達目標を達成していない。

授業計画並びに授業及び学習の方法

+ Course schedule

wk 1 (Oct 4): introduction to the course / Diagnostic tests

wk 2 (Oct 11): units 1-3 (i:, ɪ, e)

wk 3 (Oct 18): units 4-6 (æ, ʌ, ɑ:)

wk 4 (Nov 1): units 8-10 (ɒ, ɔ:, ʊ)

wk 5 (Nov 8): units 11-13 (u:, ɜ:, ə)

wk 6 (Nov 15): units 15-17 (eɪ, aɪ, ɔɪ)

wk 7 (Nov 22): units 18-21 (aʊ, əʊ, ɪə, eə)

wk 8 (Nov 29)(No Laptop Req'd): tutorial, mid-term exam 1

wk 9 (Dec 6): units 23-26 (p, b, t, d)

wk 10 (Dec 13): units 27-31 (k, g, s, z)

wk 11 (Dec 20): units 32-35 (ʃ, ʒ, tʃ, dʒ)

wk 12 (Jan 10): units 37, 38, 42, 43 (f, v, , ð)

wk 13 (Jan 15, Wed): units 47-49 (, l, r)

wk 14 (Jan 24)(No Laptop Req'd): tutorial, mid-term exam 2

wk 15 (Jan 31): units 39-41, 45-46 (w, j, h, m, n)

(set to unicode/UTF-8 if garbled)

prosody (stress & intonation)については、各課の練習問題を利用して学習します。

本授業は、英語学区分における一般的包括的内容を含みます。第1回から第15回を通して一般的包括的内容を網羅します。

+ 学習の方法

発音練習の課題を全員毎週、moodle の「英語音声学演習 2024 (nagai)」課題提出「ファイル」へ提出します。

第2週以降、第1週に指定した担当者は、その unit の練習問題を使った指導案のハンドアウトを作成します（要5時間程度）。白黒A4縦1頁、右上に名前と学籍番号を記入した「学籍番号.pdf」を、前日正午までに moodle の「発表用ハンドアウト提出」「学籍番号.pdf ファイル」へ提出してください。第1週に見本配布。

+ 自学自習のためのアドバイス

口の動きの制御と自動化を目指す点で、音声学はスポーツに似ています。

教科書とハンドアウトを用い、声を出して繰り返し練習してください。（10時間程度）

教科書・参考書等

Ann Baker (2006).

Ship or Sheep? (Third edition) Student's Book.

Cambridge University Press. 978-0521606714.

洋書なので早め（1ヶ月以上前）に手配し、入手しておいてください（自分で注文する必要があります）。20240213時点で、アマゾンが3136円、生協が3135円。古書・電子図書等可、図書館に見本あり。

オフィスアワー

授業時に教員と相談の上、日時を決定してください。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

コンピュータを用いた実習を行いますので、laptop PCとイヤホンが毎週必要です(No Laptop Req'd の日を除く)。事前に学内ネットワークに接続し、マイクでの録音と音声の再生が正常にできることを確認しておいてください。

参照ホームページ

・教科書のResources (マウスマークの音声他)

<https://www.cambridge.org/bs/cambridgeenglish/catalog/grammar-vocabulary-and-pronunciation/ship-or-sheep-3rd-edition>

・毎週の課題および発表担当者ハンドアウトの提出(moodle)

<https://kadai-moodle.kagawa-u.ac.jp/course/view.php?id=19680>

・テキストファイルの作成と提出

<http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/nagai/wordTxt.htm>

・PCの音が出ない!

<https://www.ed.kagawa-u.ac.jp/nagai/real.htm>

・PCで録音できない!

<https://www.ed.kagawa-u.ac.jp/nagai/sndrec.htm>

・ウェブで辞書を引く

<http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/nagai/dic.htm>

・BBC Learning English (Pronunciation)

<https://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/features/pronunciation/introduction>

・Laptopを学内無線LANに接続する

https://www.itc.kagawa-u.ac.jp/faq/#faq_ldap

メールアドレス

印刷配付資料(シラバス)参照

教員の実務経験との関連